

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医療人スキルアップセミナー		基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	4
担当教員		実務経験				
弘 美佐子						
講義概要						
代替医療としてのアロマセラピーを学習し、精油を安全に取り扱うことができるようになる。						
講義目標						
【一般目標】	代替医療としてのアロマセラピーの役割を理解する。					
	精油が身体・精神に及ぼす影響を理解する。					
	精油を使用したクラフトの作用と役割を理解する。					
【行動目標】	代替医療の役割を説明できる。					
	精油の精油の生理的作用、禁忌と適応、法令を説明できる。					
	アロマセラピーのクラフト作成ができるようになる。					
回数	授業内容					
16	精油の安全性①：毒性と刺激					
17	精油の安全性②：皮膚粘膜刺激特性と感作					
18	予防医学とセルフメディケーション⑥ 精油の知識					
19	精油成分1：炭化水素類					
20	精油成分2：アルコール類					
21	精油成分3：安息香酸他 精油の知識					
22	ハンドクリーム作成					
23	法令(医師法、薬事法等)					
24	法令(美容法、あはき法他)					
25	嗅覚の生理学(嗅球、大脳基底核)					
26	香りによる嗅覚刺激と圧覚による痛みの緩和、精油の代謝と排泄					
27	アロマオイルブレンド					
28	香りの体内への影響					
29	JAA資格試験問題演習					
30	まとめ / 後期試験					
指定教科書			参考図書			
精油テキスト アロマセラピーテキスト			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績：前期50%＋後期50%＝100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる バスタオル ハンドタオル(お風呂で体を洗うサイズのもの) 連絡先：bodymall.335@gmail.com			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
学習支援セミナー		基礎科目	Ⅱ部1年	講義	15	1
担当教員		実務経験				
石川 佑之輔						
講義概要						
講義内容を理解し、試験で結果を残すことができる学習方法を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	講義内容をインプットし、アウトプットする方法を知る。					
	試験の結果から、今後の学習方法を修正する必要性を知る。					
	計画的な学習計画の必要性を知る。					
【行動目標】	講義内容をインプットし、試験で問われた際に解答できる。					
	試験の結果から、学習方法を修正することができる。					
	試験に向けて学習計画を立て、実行することができる。					
回数	授業内容					
5	前期末試験の振り返りと後期の試験関係スケジュール					
6	第1回_中間テスト					
7	第2回_中間テスト					
8	後期末試験に向けて					
指定教科書			参考図書			
なし			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績:課題の作成と提出100% ※課題提出回に欠席した場合は翌登校日に課題を取りに来ること			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
コミュニケーション学		基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	4
担当教員		実務経験				
藤田 敏実						
講義概要						
様々な場面で「伝える」工夫ができることを目指す。演習で小グループ発表を繰り返しながら、伝える内容の構成や話し方を磨きあう。また、自己理解、他者理解を深めながら、協働のためのコミュニケーションについて自身の取り組みを考える。						
講義目標						
【一般目標】	論理的思考、批判的思考の意義が理解できる。					
	自己理解、他者理解が深まり、多様性をより尊重できるようになる。					
	自分と異なる意見や考え方にも耳を傾け、話し合うことができる。					
【行動目標】	意見を理由と根拠で伝えることができる。相手の意見をよく聞き、矛盾する場合は反論することができる。					
	相手の特性(性格、得意、苦手など)を意識した対応(接し方や説得)ができる。					
	チームの目標達成のために、自分の果たす役割について考えることができ、必要な行動をとることができる。					
回数	授業内容					
16	後期オリエンテーション					
17	伝える (1) 説明力					
18	基礎臨床実習関連① (オスキー前)					
19	伝える (2) スピーチ①(小集団)					
20	" (3) スピーチ②(大集団)					
21	" (4) 意見を述べる① (論理の基礎)					
22	" (5) 意見を述べる② (一人で考える)					
23	" (6) 意見を述べる③ (グループで考える)					
24	" (7) 意見を述べる④ (プチ試合で力試し)					
25	自己理解① (自己概念)					
26	基礎臨床実習関連② (実習直後)					
27	自己理解② (診断テスト)					
28	チームビルディング① (小集団)					
29	チームビルディング② (大集団)					
30	総まとめ					
指定教科書			参考図書			
PT・OT・STのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%＋後期50%＝100%			・303教室使用時、開始直後にセッティング、終了直前に現状復帰。 ・状況により授業内容を変更することがある。質問は直接受付。			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
解剖学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
前田 誠司						
講義概要						
理学療法士として必要な解剖学の知識を解説し、人体の各種器官の構造と機能を理解する。						
講義目標						
【一般目標】	腹部内臓(消化器・泌尿器)の構成および機能を理解する。					
	感覚器系の構成と機能を理解する。					
	人体の各種内臓の位置関係を理解する。					
【行動目標】	腹部・骨盤内臓(消化腺、泌尿生殖器系)の構成および機能を説明できる。					
	感覚器系の構成および機能を説明できる。					
	各種内臓の体腔内での位置関係を概説できる。					
回数	授業内容					
16	消化器系2:消化腺 (肝臓、胆嚢)					
17	消化器系3:消化腺 (膵臓、腹膜)					
18	内分泌系					
19	泌尿生殖器系1:腎臓					
20	泌尿生殖器系2:尿管、膀胱(蓄排尿のメカニズム)					
21	泌尿生殖器系3:尿道(男女差について)					
22	泌尿生殖器系4:男性生殖器					
23	泌尿生殖器系5:女性生殖器					
24	胸腹部の臓器の構成(縦隔部器官、腹膜と腹膜後器官)					
25	臓器と自律神経系					
26	感覚器系1:視覚器					
27	感覚器系2:平衡聴覚器 外耳と中耳、内耳の構造と機能					
28	感覚器系3:皮膚感覚器、嗅覚器、味覚器					
29	人体の発生					
30	後期まとめ					
指定教科書			参考図書			
標準理学療法学・作業療法学 解剖学(医学書院)			坂井 建雄 (著) プロメテウス解剖学 コア アトラス			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%+後期50%=100%			指定教科書および講義で配布資料は必携である。 Eメールでの質問可。質問者の①クラス、②氏名、③質問内容を明確に示すこと。 連絡先:maedas@hyo-med.ac.jp			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
解剖学Ⅱ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
田中 嵩樹		回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
人体の解剖学的構造を理解し、骨や筋の基本から形状や位置関係、支配神経を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法に必要な骨、筋、神経の解剖学的構造を理解する。					
	体表上から触れる骨や筋を骨模型から想定する。					
	体表上からランドマークや筋の走行を理解する。					
【行動目標】	ランドマーク、筋の起始、停止、支配神経を選択または記述できる。					
	筋の特徴や位置関係・断層構造を選択または記述できる。					
	骨格筋の起始、停止を考慮して、筋テープを作成できる。					
回数	授業内容					
16	骨盤と下肢の骨 触診と模型作成①					
17	骨盤と下肢の骨 触診と模型作成②					
18	筋総論					
19	腸腰筋・小・中・大殿筋					
20	縫工筋・大腿四頭筋・大腿筋膜張筋					
21	ハムストリングス・膝窩筋・内転筋群					
22	下腿前面・外側筋群					
23	下肢の解剖 下腿後面筋群					
24	足趾筋群 腰・仙骨神経叢～ 足趾までの末梢神経					
25	レントゲンの見方					
26	頭部・脊柱・肋骨・骨盤					
27	頸部周囲の筋群、腹部周囲筋群					
28	脊柱起立筋					
29	顔面筋と咀嚼筋					
30	後期まとめ					
指定教科書			参考図書			
標準理学療法学・作業療法学 解剖学			解剖学アトラス 骨格筋の形と触察法 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%＋後期50%＝100%			予習済み骨筋ノート、はさみ(模型作りに使用) 3色(赤・青・緑)ペン			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
生理学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
宮崎 眞男		回復期リハビリテーション病院、整形外科クリニックにおいて理学療法を7年間従事				
講義概要						
内臓系(前期:呼吸器・循環器 後期:消化器・内分泌腺・泌尿器・血液)のしくみと働きについて、理学療法士として必要な基礎知識を身につける。また、疾患学・症候学につながる基礎知識を深める。						
講義目標						
【一般目標】	各臓器の生理学的役割を理解する。					
	ホメオスタシス(恒常性)を理解する。					
	正常な機能が破綻した場合、どのような状態になるかを理解する。					
【行動目標】	各臓器の機能について説明および選択できる。					
	ホメオスタシス(恒常性)について、正常と異常の違いを説明および選択できる。					
回数	授業内容					
16	消化と吸収 : 三大栄養素の消化・吸収、消化酵素					
17	消化と吸収 : 胃の運動、大腸・小腸					
18	消化と吸収 : 肝臓、赤血球の代謝					
19	消化と吸収 : 胆嚢、胆汁					
20	消化と吸収 : 膵臓、膵液					
21	腎臓・体液調節 : 腎臓の機能					
22	腎臓・体液調節 : 尿の生成					
23	腎臓・体液調節 : 酸塩基平衡 (pH)					
24	腎臓・体液調節 : 排尿・排便					
25	血液 : 赤血球					
26	血液 : 白血球					
27	血液 : 血小板・血液凝固					
28	内分泌 : ホルモン・内分泌・概日リズム					
29	内分泌 : ホルモン・内分泌・概日リズム					
30	後期のまとめ					
指定教科書			参考図書			
メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 新版 生理学			カラーイラストで学ぶ生理学 PT・OTのための生理学テキスト 新訂版 図解ワンポイント 生理学			
評価方法			準備物・注意事項			
#REF! 成績:定期試験 前期50%+後期50%=100%			配布資料を忘れずに持参すること。 講義中は必ずメモを取ること。			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
生理学Ⅱ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
大野 京介		急性期病院において整形・中枢神経系理学療法中心に6年間従事。				
講義概要						
中枢神経系、末梢神経系の構造と機能について疾患学、症候学の理解につながる基礎知識を学習する。						
講義目標						
【一般目標】	中枢神経の構造と働きを理解する					
	自律神経、感覚神経、特殊感覚の働きを理解する					
	運動神経、感覚神経の伝導路を理解する					
【行動目標】	中枢神経系の構造と働きについて各部位ごとに名称と機能を選択できる					
	自律神経系、感覚神経系、特殊感覚について特徴を選択できる					
	運動神経、感覚神経の伝導路を説明できる					
回数	授業内容					
16	中枢神経系総論					
17	大脳皮質①					
18	大脳皮質②					
19	間脳					
20	脳幹					
21	脊髄					
22	自律神経、体性感覚					
23	伝導路①					
24	伝導路②					
25	大脳基底核、大脳辺縁系					
26	小脳					
27	脳動脈					
28	特殊感覚					
29	記憶・睡眠					
30	後期まとめ					
指定教科書			参考図書			
メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 新版 生理学 病気がみえる vol.7 脳・神経			図解ワンポイント 生理学 人体の構造と機能			
評価方法			準備物・注意事項			
成績：期末試験 前期50%＋後期50%＝100%			伝えた内容や板書したことは必ずメモを取ること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
運動学Ⅰ		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
高橋 眞太郎		回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要						
身体の運動や動作が理解および表出できるように、運動器の構造と機能および身体運動のメカニズムを力学的および科学的視点で学習する。また、それらの病態力学についても学習する。						
講義目標						
【一般目標】	生体力学、身体運動に関連する身体構造や心身機能を理解できる。					
	関節の構造・機能およびその病態、関節運動に関与する骨格筋の収縮様式およびその病態を理解できる。身体運動(姿勢・動作)の運動学的・運動力学的要素およびその病態を理解できる。					
【行動目標】	生体力学的・運動学的・運動力学的用語およびその病態について説明および選択できる。					
	関節の構造機能およびその病態、骨格筋の関与やその病態について説明および記述できる。身体運動(姿勢・動作)に与える影響を身体構造・心身機能から記述および選択できる。身体に働く運動学的・運動力学的影響を算出できる。					
回数	授業内容					
16	股関節の構造と機能 ＜close pack position, loose packed position等＞					
17	股関節の筋 ＜Pauwelsの理論等＞					
18	股関節の病態運動 ＜Trendelenburg・Duchenne徴候等＞					
19	膝関節（脛骨大腿・膝蓋大腿関節）の構造と機能 ＜縮閉線、関節包内運動等＞					
20	膝蓋骨の機能。膝関節の筋 ＜screw home movement等＞					
21	膝関節の病態運動① ＜靱帯損傷、内反膝・外反膝等＞					
22	膝関節の病態運動② ＜Extension lag、反張膝＞					
23	足関節（距腿・距骨下関節）の構造と機能					
24	ショパール・リスフラン関節、足部のアーチ 足関節・足部の筋　＜ウィンドラス機構＞					
25	足関節の病態運動 ＜足関節捻挫、足部の変形、末梢神経障害等＞					
26	脊柱・椎間板の構造と機能					
27	呼吸運動　＜肋椎関節等＞ 脊柱・体幹の筋					
28	咀嚼＜顎関節の運動＞ 立位姿勢とアライメント					
29	姿勢制御、運動連鎖					
30	脊柱・体幹の病態運動 ＜腰椎骨盤リズムからの考察＞					
指定教科書			参考図書			
身体運動学 関節の制御機能と筋機能			基礎運動学 筋骨格系のキネシオロジー シンプル理学療法学 作業療法学シリーズ 運動学テキスト			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%＋後期50%＝100%			いかせん骨筋ノート(解剖学Ⅱで配布予定)、3色(赤・青・緑)ボールペン、 3色(赤・青・緑)蛍光ペン、指定教科書を持参すること 授業中は必ずメモをとること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
人間発達学		専門基礎科目	Ⅱ部1年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
小財 知幾		回復期リハビリテーション病院において中枢神経系理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
人間が生涯を通してどのように発達していくかを学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	人間の生涯を通じて運動発達や知能発達を中心に学び、理解する。					
	胎児期～老年期の発達について興味を持つ。					
	人間発達の基礎を習得し、小児理学療法へとつなげる。					
【行動目標】	人間発達の領域(身体・運動・認知・情緒・社会性・パーソナリティなど)について記述・選択できる。					
	胎児期～老年期までの発達について記述・選択できる。					
	新生児期～幼児期の姿勢反射と反応について記述・選択できる。					
回数	授業内容					
1	総論					
2	胎生期の発達					
3	原始反射					
4	姿勢反射・反応					
5	乳児期の発達（１）					
6	乳児期の発達（２）					
7	乳児期の発達（３）					
8	幼児期の発達					
9	発達検査					
10	身体構造・機能の発達（１）					
11	身体構造・機能の発達（２）					
12	感覚・知覚・認知の発達					
13	社会性・ＡＤＬ・遊びの発達					
14	学童期～老年期の発達					
15	講義まとめ					
指定教科書			参考図書			
なし			Closs link リハビリテーションテキスト 人間発達学 イラストと動画で学ぼう！ 人間発達学 よくわかる発達心理学			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 100%			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
病理学		専門基礎科目	Ⅱ部1年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
柳本 展孝		一般・療養病棟にて、大腿骨頸部骨折、脳卒中、透析患者などの治療に5年間従事				
講義概要						
障害を引き起こす一因である病気の病因・病態・病理組織を理解し、またその病気が進行していく過程を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	病気の原因を理解する。					
	病気の症状および経過を学習し、その変化の内容を理解する。					
	病気の原因と症状、経過を関連付けて理解する。					
【行動目標】	病気の原因を列挙できる。					
	病気の経過およびその変化の内容を記述できる。					
	病気の原因と症状、経過を関連付けて記述できる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション、概要・病因論					
2	退行性病変・進行性病変①					
3	退行性病変・進行性病変②					
4	免疫①					
5	免疫②					
6	炎症①					
7	炎症②					
8	循環障害①					
9	循環障害②					
10	腫瘍①					
11	腫瘍②					
12	感染症①					
13	感染症②					
14	症候学①					
15	症候学②					
指定教科書			参考図書			
なし			標準理学療法学・作業療法学 病理学 新訂版 クイックマスター 病理学 カラーで学べる 病理学			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 100%			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
臨床心理学		専門基礎科目	Ⅱ部1年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
飯 春菜		回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
臨床心理学の理論と実際について、理学療法士に必要な基礎知識を身につける。 臨床現場で活用できる心理学を身につける。						
講義目標						
【一般目標】	基礎心理学と防衛機制について理解する。					
	心理アセスメントについて理解する。					
	心理療法について理解する。					
【行動目標】	心理学の歴史、発達心理学、防衛機制について選択できる。					
	心理アセスメントの研究者と心理検査について選択できる。					
	心理療法の研究者と理論について選択できる。					
回数	授業内容					
1	心理学概論					
2	発達心理学					
3	防衛機制					
4	防衛機制					
5	障害受容、転移と逆転移					
6	心理検査：人格検査					
7	心理検査：人格検査					
8	心理検査：知能検査					
9	心理療法：精神分析療法					
10	心理療法：精神分析療法					
11	心理療法：人間性心理学					
12	心理療法：人間性心理学					
13	心理療法：行動療法					
14	心理療法：認知行動療法					
15	まとめ					
指定教科書			参考図書			
なし			なし			
評定方法			準備物・注意事項			
期末試験100%			A4サイズのノート＋赤・青・緑のボールペン 板書中心のため、ルーズリーフよりノートの方が良い			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
リハビリテーション学		専門基礎科目	Ⅱ部1年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
山根 好史		療養病床、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどで地域理学療法を中心に10年従事。併行して整形外科外来で定期的に25年従事。				
講義概要						
リハビリテーションについて総論として広く学ぶ。リハビリテーションとは、理学療法士とは何なのか。チームリハビリテーションと他職種連携、医療と福祉におけるリハビリテーションのありかた、リハビリテーションの対象となる人々とそのかかわり方など、自分がセラピストとして働いていくうえでベースとなる知識を身につけていく。						
講義目標						
【一般目標】		「リハビリテーション」の言葉の意味、理学療法士や他職種の役割を知る。 リハビリテーションを進めるうえで必要な幅広い知識を身につけることの重要性を理解できる。 障害の捉え方、チームリハビリテーションの重要性、リハビリテーション職としてのかかわり方を知る。				
【行動目標】		医療現場で用いられる専門用語を適切に読める。 医療現場で用いられる専門用語を適切に記述できる。				
回数	授業内容					
16	○作業療法と作業療法士					
17	○言語聴覚療法と言語聴覚士					
18	○リハビリテーション看護					
19	○医療チーム					
20	○定期試験④ ○車椅子					
21	○エイジレスセンター					
22	○エイジレスセンター					
23	○リハビリテーションロボティクス					
24	○歩行					
25	○異常歩行					
26	○定期試験⑤ ○下肢装具					
27	○上肢装具、体幹装具					
28	○義足、義手					
29	○地域包括ケア					
30	○定期試験⑥ 振り返り					
指定教科書			参考図書			
リハビリテーション総論			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
定期試験 後期3回の定期試験を合算して100点に換算 前期50%＋後期50%＝100%			教科書は必ず毎回持参すること 毎講義終了時に、専門用語の発声・記載練習を行う			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法セミナーⅠ		専門科目	Ⅱ部1年	演習	30	1
担当教員		実務経験				
柳本 展孝		一般・療養病棟にて、大腿骨頸部骨折、脳卒中、透析患者などの治療に5年間従事				
講義概要						
基礎臨床実習Ⅰに臨むための準備を主に行う。実習に臨む姿勢や心構え、考え方などを学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	基礎臨床実習Ⅰへ円滑に取り組むための接遇、マナー、コミュニケーション能力を理解する。					
	基礎臨床実習Ⅰで対象者に関わるための感染対策について理解する。					
	基礎臨床実習Ⅰにおいて学ぶべきことを理解する。					
【行動目標】	基礎臨床実習Ⅰに必要な最低限の接遇、マナー、コミュニケーション技術について実践できる。					
	基礎臨床実習Ⅰや日常生活において必要とされる感染対策を実践できる。					
	基礎臨床実習Ⅰで課される実習課題の作成が円滑に行える。					
回数	授業内容					
1	コミュニケーションOSCEの内容、 接遇・マナー、身だしなみについて					
2	コミュニケーションOSCE 実技演習					
3	コミュニケーションOSCE 実技演習					
4	コミュニケーションOSCE 実技演習					
5	コミュニケーションOSCE 実技演習					
6	コミュニケーションOSCE 実技演習					
7	コミュニケーションOSCE					
8	コミュニケーションOSCE					
9	実習課題(デイリーノート)記載演習					
10	実習課題(デイリーノート)記載演習					
11	実習課題(デイリーノート)記載演習					
12	臨床実習における感染対策について					
13	見学実習で学ぶポイント、 理学療法過程(PTプロセス)について					
14	見学実習の振り返り① 症例情報の例					
15	見学実習の振り返り② 検査測定、動作分析					
指定教科書			参考図書			
なし			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
【講義に関する注意事項】に準じて減点する 実技試験 50% 講義内課題 50%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 基礎臨床実習Ⅰへの参加にはコミュニケーションOSCE合格を必要とする。 (単位認定者も実習に参加する場合は本年度のOSCE合格が必要) 補助教員:山根好史、石川佑之輔			

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
基礎臨床実習Ⅰ	臨床実習	Ⅱ部1年	実習	45	1
講義概要					
見学を中心とした早期の臨床実習で、理学療法士が臨床でどのように活動しているのかを学ぶ機会とし、自身の将来像を構築する契機とする。また実習を通し、理学療法学生として医療を志すものとして必要な人間性を養う。					
講義目標					
【一般目標】	理学療法士になることへの動機づけを高める。 理学療法士の役割と責任について理解する。 理学療法学生として必要な態度や行動を身につける。				
【行動目標】	施設の規則・規律を守り、施設のスケジュールに従って行動する。 身だしなみを整え、適切な挨拶、言葉使いを行う。 提出物は期限を守って提出する。 自己の健康を管理する。 自己の考えを伝え、相手の考えを理解し、感情をコントロールした言動を行う。 指導や助言に対して改善・修正を行う。 状況に合わせて、報告・連絡・相談を行う。				
	時期	内容			
実習前ゼミ	10月17日 9:00～12:00 (Ⅰ部1～2講時) 705教室	オリエンテーション、身だしなみチェック ※実習直前にも身だしなみチェックあり			
実習期間	11月10日～15日	臨床実習45時間			
実習後ゼミ	11月17日1～2講時	身だしなみチェック、提出物確認、実習振り返り			
補充実習期間	2026年3月2日～7日	実習時間数不足または不合格の場合のみ対象となる			
指定教科書			参考図書		
2025年度臨床実習指導要項(学生用) ※前ゼミで配布					
評価方法			準備物・注意事項		
実習に関わるゼミの状況、関連書類の提出状況、実習先での臨床技能の経験値と指導者による評価などを、全て加味して総合的に評価する。 学生自身の責任で正規期間内に必要時間数を満たせない場合は、補充実習対象あるいは評価対象外となる可能性がある。			携行物: 指定ファイル(30穴・青)、ゲージパンチ(30穴) 名札フォルダ、筆記用具、印鑑(シャチハタで可) 実習前後のゼミ、臨床実習には2025年度臨床実習指導要項と実習ファイルを必ず携行すること。 身だしなみ不備、忘れ物、態度不良、遅刻・欠席等は全て当該科目からの減点対象事項となる。また身だしなみ不良に対する修正の意思がない場合、ゼミの参加態度不良などに対しては、実習ゼミ等の段階で実習を中断・中止する場合がある。 実習中止の場合は、修了時間数・中止理由を問わず単位取得不可となる。		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅰ		選択科目(必須)	Ⅱ部1年	演習	30	2
担当教員		実務経験				
高橋 眞太郎		回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要						
理学療法の根幹をなす、基礎医学(特に、解剖学・生理学・運動学)を演習形式で重点的に学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	理学療法に必要な解剖学の領域を知る。					
	理学療法に必要な生理学の領域を知る。					
	理学療法に必要な運動学の領域を知る。					
【行動目標】	理学療法に必要な解剖学の演習問題に対して記述できる。					
	理学療法に必要な生理学の演習問題に対して記述できる。					
	理学療法に必要な運動学の演習問題に対して記述できる。					
回数	授業内容					
9	問題演習⑨ 解剖学					
10	問題演習⑩ 生理学					
11	問題演習⑪ 解剖学					
12	問題演習⑫ 生理学					
13	問題演習⑬ 運動学					
14	問題演習⑭ 生理学					
15	問題演習⑮ 運動学					
指定教科書			参考図書			
なし			解剖学、生理学、運動学で使用している教科書すべて			
評価方法			準備物・注意事項			
講義内演習問題100%			解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰで用いている教科書・配布資料・ノート等を持参すること 担当教員：飯春菜、田中嵩樹、大野京介を含む			